

平成26年度

# 事業報告書

自：平成26年 4月 1日

至：平成27年 3月31日

社会福祉法人 あおい会

## 法人本部

経営コンサルタントと平成23年8月より、月1回経営企画会議と管理者会議を重ねてきました。

経営理念・経営指針・行動原則・従業員の資格 等掲げてそれぞれの事業所で浸透させるべく、管理者会議、管理者との面談、職員との面談を実施してきましたが、思うように職員に認識されずに推移されていましたが、今までは各事業所において朝礼で唱和することにより、経営理念や行動原則等かなり浸透しているものと思われます。

- (1) 評価シートにつきましては、一部の事業所を除き各事業所とも確実に提出されて、それぞれに評価をしています。この評価シートを今後どの様に生かしていくかを考えていく必要があると思います。
- (2) 提案制度につきましては、当初ほどの提案は出されてきていませんが、実行可能なものに関しましては実行されてきているので職員の励みにもなっていると思います。今まではどちらかというとハード面での提案が多く出されてきましたが、ソフト面の提案も今後は期待していきたいと思います。
- (3) 公益的な取り組みとしまして、あさも園で小学生の見守り隊を週一回ですが参加させていただいてます
- (4) 地域との関わりにつきましてはあさも園の見守り隊を契機に各事業所とも地域の参加に勤めていきたいと思います
- (5) アンケート結果については今年も実施しておりまして、満足度調査ということですが前回の調査より満足度が少しですが減少しています。  
2回目ということで今後もこのアンケート調査が継続されるのであれば真剣に答えようという気持ちが表れてきたのではないかと思います。  
法人としましてはやはり真剣に回答していただくことを目指しているので真摯に受け止めて今後にかかしていきたいと思います。  
(アンケート結果につきましては、別紙参照して下さい)

## あおい学園

1. 定員と現員(H26年度末)  
定員 30名 現員 30名  
利用延べ人数 6107名

2. 入園児・卒園児数  
入園児 11名(H26年4月)  
卒園児 9名(H27年3月) 転園児 1名(H26年10月)

3. 月別在園児数(契約者数)

4月～10月 30名	11月 29名	12月～3月 30名
------------	---------	------------

4. 年齢別園児数(H26年度末)

1才	2才	3才	4才	5才	6才
0名	0名	0名	8名	13名	9名

5. 障害程度(H26年度末)

療育手帳	A1 0名	A2 2名	B1 9名	B2 12名	計 23名
------	-------	-------	-------	--------	-------

6. 住所内訳

和歌山市 30名	他 0名
----------	------

7. 療育支援

発達に遅れのある就学前の幼児が、毎日通園して集団生活を通じて障害を克服し、発達を促してできるかぎり社会生活に適応できるよう、療育支援を行い未発達の諸機能の発達促進に努めました。

8. 保健衛生

内科検診	4月22日	11月17日
歯科検診	6月11日	

## 9. 年間行事

4月	4/7 前期支援始まり 入園式 保護者会総会 内科検診 児童福祉週間プレゼント(県障害福祉課様来園)
5月	親子遠足 (和歌山城公園) 母親教室 (和太付属特別支援学校見学)
6月	保護者会见学(コスモス支援学校分校) 母親教室 歯科検診 保護者会见学(県立紀北支援学校・さくら支援学校)
7月	七夕祭り行事 あおい夏祭り(ゲーム・お店屋さん・スイカわり) 自由参観日
8月	プール遊び(園庭) 夏休み (8/11~8/15)
9月	母親教室(OBの母親体験談) 個人懇談会 9/30 前期終了
10月	10/1 後期支援始まり 親子運動会
11月	親子遠足 (片男波公園) 自由参観 内科検診
12月	親子クリスマス会 冬休み(12/27~1/5)
1月	1/6 支援始まり 母親教室(音楽療法研修) 親子製作教室
2月	節分行事 母親教室(愛徳整肢園作業療法研修) 父親参観(日曜参観)
3月	ひな祭り行事 個人懇談会 お別れ遠足(みさき公園) 卒園式 新入園児1日体験通園 3/31 後期終了
その他	身体測定・避難訓練・園外支援・誕生日会・作業療法支援 音楽療法支援 絵本読み聞かせの会を毎月1回実施 園外保育実施(和歌山城・市内の公園・JR和歌山駅・図書館・スーパーマーケット ・郵便局・神社・秋葉山)

## 10. 職員研修

各種の園外研修会や園内研修会に参加しました。また専門の図書を購入して、職員の資質向上に努めました。

## 11. 園児募集

和歌山市役所や市保健センター等に園児募集の協力を依頼し定員を確保しました。

## 12. 園児の防災対策

南海地震等大地震、津波が予想されている為、防災対策を立てて園児の避難訓練を行い、特に園児が乗って移動出来る避難手押車を使って、少し遠くまで歩いて訓練をしました。

## あさも園

「人が生き生きと楽しい生活が送れるようお手伝いをする事」あおい会経営理念に基づき、利用者本位の質の高いサービスの提供に努めるとともに、多様なニーズに応え、地域社会における共生の実現に向けた取り組みを積極的に展開してきました。

### 1. 事業内容

◇生活介護事業 (利用者数:32名)

利用者の日常生活の自立に必要な支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(お花・フラダンス・音楽・図工・調理実習等)や生産活動(スポンジの袋詰め作業・竹楊枝の箱詰め作業等)機会を提供し、豊かな生活が送れるよう支援してきました。

◇就労継続支援B型事業 (利用者数:21名)

「働く喜びが実感できるように支援する」

やりがいを感じながら生産活動のできる場所(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)を提供し、就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるよう支援してきました。

### 2. 人権擁護・虐待防止対策

人権擁護・虐待防止に関する職員の知識・技術の向上を図るため、計画的に外部研修に参加及び内部研修を実施してきました。また、職員に自己チェックテストを行い課題を発掘し、対応策等について検討してきました。

人権擁護・虐待防止委員会を設置し、管理体制・記録・通報システムの強化を図ってきました。

### 3. 地域との交流

紀伊地域の文化祭”紀伊文化まつり”や”子ども見守り隊”への参加、また施設周辺の清掃活動などを実施してきました。こうした取り組み実績が少しずつ地域に認知されてきています。

### 4. 実習生の受け入れ

利用者への最善のサービスを提供していくためにも福祉に関する裾野を広げていくことは必要です。中学校・支援学校生徒の職場実習、看護学校や福祉専門学校学生の福祉現場実習など積極的に実習生を受けてまいりました。

### 5. 非常災害

毎月消防訓練・避難訓練を実施し、防災対策と利用者・職員の安全確保に努めてきました。

### 6. 職員の資質の向上

各種研修会に参加及び伝達研修・施設内研修を実施し、職員の知識・技術の向上に努めてきました。

7. 年間行事等

日 時		行 事 等
4月	2日	お花見(府守神社)
	24日	利用者健康診断(会田内科)
5月	13日	保護者会総会
	29~30日	旅行(長島方面)
7月	8~10日	さくら支援学校生徒職場実習
	18日	水泳教室(双子島荘)
	30~31日	紀北支援学校生徒職場実習
	31日	和大付属支援学校職場見学
8月	5日	紀伊中学校生徒見学
	7日	ミニ夏祭り
	7~8日	紀北支援学校生徒職場実習
	18日	きのかわ支援学校保護者見学
	20日	盲学校職員見学
	22日	紀伊中学校保護者見学
	25日	紀北支援学校職員見学
9月	17日	コスモス支援学校生徒見学
10月	3~6日	日赤看護学生福祉現場実習
	10日	親子運動会(琴の浦リハビリテーションセンター)
	14~15日	日赤看護学生福祉現場実習
	24日	バーベキュー(泉南二色ヶ浜公園)
	28~30日	紀伊中学校インターンシップ実習
	30日	利用者健康診断(会田内科)
11月	2日	紀伊文化まつり参加
	12日	コスモス支援学校中学部生徒見学
	24日	スポーツフェスタ(ビッグホエール)
	27~12月22日	福祉専門学校学生福祉現場実習
12月	17日	クリスマス会
1月	9日	えびす詣り(大宮神社)
	14~15日	盲学校生徒職場実習
	27日	コスモス支援学校生徒見学
	27~29日	きのかわ支援学校生徒実習
2月	19日	さくら支援学校生徒見学
	23~3月2日	福祉専門学校学生福祉現場実習

# 太陽の丘

## 1. 施設の概要

- ①所在地 和歌山県海南市上谷777-1
- ②利用定員 生活介護:87名 短期入所(空床型):6名  
施設入所支援:70名  
グループホームふあんふあん:8名  
グループホームかつらぎ荘:3名
- ③居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室
- ④平成26年度の概要

※ 太陽の丘は障害者総合福祉法サービス体系で、「全ては利用者さんのために」のスローガンのもと支援を提供しました。

平成26年3月に太陽の丘から4名の男性利用者さんがグループホームふあんふあんに移行、27年1月に男性1名が逝去し、男性2名が在宅から入所し、平成26年度末の現在員は69名。

## 2. 施設方針

平成26年度施設方針「リスクマネジメントの充実で、大切な利用者さんを守って、がっちり信頼関係を築き、家族と利用者さんに安心を提供する」に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全にいきいきと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を行いました。

## 3. 生活支援

「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、利用者さんの高齢化を念頭に置き、安全安心に生活できる場の提供を行えるように取り組みました。

また日常生活に必要な基本的習慣の自立を目的に、身辺処理・清掃活動に取り組み、更に毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援に取り組みました。

## 4. 日中活動

### 〔花係〕

花係の所属利用者さんは、25名。活動内容としては、スポーツフェスタで使われるゼッケンをフェスタ協会より委託を受けてのクリーニング作業を主に行いました。そして個々の身体機能や能力に応じたプログラムを作成し、運動レクリエーションとしてラジオ体操やウォーキングに取り組み、怪我や廊下の予防に努め各自にやりがい・生きがいを持ってもらう様な活動支援を提供しました。

### 〔鳥係〕

鳥係の所属利用者さんは、24名。

26年度は次の3つの目標を掲げ、活動に取り組みました。

#### ① 「係単独の活動を行って、活動への定着を図る」

25年度は鳥係24名だけで活動を行なう事が出来なかったもので、今年度は係単独で活動を行なうように他の係と協力して、係別で行える活動が増えてきています。利用者さんも自分の所属係を自覚して、案内放送が流れたら自分が鳥係だと意識して作業場所に移動することが徐々に定着できるよう

になってきました。

② 「活動内容を充実させて、意欲の向上につなげる。」

レクリエーション一つとして同じDVDやビデオを見て貰っていましたが、それをもう少し多様化したものを提供するために海南市児童図書館で貸し出されているDVDと紙芝居を活用して提供しました。特に好評だったのが紙芝居で、支援員が直接話かけてというものなのか、皆さん集中して参加し楽しんでくれました。

また作業で取り組むものとして、ブラシの袋詰めの新作業を導入しました。作業内容等が難しい面もあったんですが、「やりたい」と言う利用者さんの意欲が凄く見られました。他にも、玄関前の清掃及び洗車等にも取り組みました。

③ 「外出の機会をつくり、気分転換を図る。」

海南市児童図書館を活用していますが、図書館に利用者さん平均2.3人と職員1名で外出することが定着してきており、今年度は一人平均約3回外出できました。

そして、散歩も活動に取り入れて、体を動かす機会を作っています。その中で散歩しながら体力を付けて貰って、健康維持・リフレッシュにもつながる活動に取り組みました。

〔宙係〕

宙係の所属利用者さんは、25名。

宙係は「体力的な要素」、「知覚的な要素」、「生活的な要素」この3点を軸とし、活動を行ないました。「体力的な要素」としましては、棟内・屋外での軽運動(音楽に合わせて体を動かす・トランポリン・ボール等の遊具を使用して体を動かす・散歩等)を中心に言い、体力の維持に努めました。高齢化が進んできている中、怪我の予防等にもつながるので少しでも体を動かして体力の維持をして頂こうと積極的に取り組んで参りました。

「知覚的な要素」としましてはDVD・音楽鑑賞、カラオケ等にて興味の刺激、感覚に刺激を与えるような活動に取り組みました。

「生活的な要素」としましてはシーツ交換・大掃除部屋の掃除・衣類等の整理等を中心に行なう事により、生活能力の維持・向上を図って参りました。

5. 余暇活動支援

余暇活動として、「社会貢献活動」「社会見学(企業見学)」「社会資源活用」などを企画・提案し、全利用者さんに社会に触れる機会を提供することを目標に余暇学習活動に取り組みました。そして利用者さんが、その人らしく生活を営むためには、さまざまな人との関わりを育て深める必要があると思います。施設に閉じこもったままではなく、社会に出てたくさんの刺激を受けて頂けるサービスの提供に取り組みました。

具体的な活動として、従来のプロ野球観戦や宝塚観劇、NGK観覧等の他、和歌山県立自然博物館に見学に行くことを企画実施しました。また自然博物館に関しては、皆が参加出来るということを取り入れて行ってきました。その他歌謡コンサートは年1回実施の予定となっていました。予定していたコンサートが日程の都合上行くことが出来ず、来年度に持ち越すことになりました。

6. 買物外出・パーソナルプランについて

平成26年度は、多くの利用者さんに外出に機会を提供させて頂くことを目標に取り組んで参りま

した。

パーソナルプランでは利用者さんの希望を前提に外出して頂き、またドライブ・買物等も行って頂く事で太陽の丘では、感じられない季節・空気感・食事を体験して頂ける取り組みを行いました。

26年度	パーソナルプラン	男性:24回	女性:20回
	買物外出	男性:34回	女性:25回
	男性平均:3.3回	女性平均:2.7回	平均:3回

## 7. 看護係

検診関連として年に1回歯科検診を6月に実施。10月に健康診断・血液検査・胸部レントゲン・尿検査を実施しました。日常的には感染予防として、皆さんに手洗いうがいの励行を実施しています。

次に通院についてですが、厚生病院の神経科・内科・外科・整形外科・眼科・泌尿器科、さいとう耳鼻科、吉村皮膚科・宮本病院・和歌浦病院・井内歯科に各種の通院を実施しました。26年度の緊急通院の理由で転倒による裂傷等で6件

肺炎・誤嚥性肺炎・マイコプラズマ肺炎・腸閉塞等での入院が7件ありました。

理美容につきましては、男女各月1回実施しております。

## 8. 権利擁護・エチケット委員も選任

毎月4名も職員(経験年数の短い人&長い人各2人)を委員として選任し、その4名を中心に虐待防止の対応・対策及び改善を図り、併せて人権に配慮された対応でサービスを提供しました。

## 9. 年間行事

家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認することと併せ地域の方々との交流を目的に各種の行事を開催しました。(別紙参照)

## 10. 食生活

栄養面だけでなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も考えた食事を提供しました。

また平日の昼食時には、利用者さんを4つのグループに分けて出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえるよう食事を提供しました。

給食会議を開催し、嗜好調査を平成27年2月に実施し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組みました。

## 11. 防災管理体制

太陽の丘防災計画に則り次の各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組みました。

訓練内容／避難訓練(1回／月)・夜間避難訓練(平成26年8月)

総合防災訓練(平成27年3月:海南市消防署員指導)

普通救命講習(平成27年3月:海南市消防署員指導)

防災設備器具の、維持点検の実施。(平成26年7月・平成27年1月)

## 12. 実習生・ボランティア受け入れ

大学・専門学校より次の通り実習生の受け入れを行い、支援に対する知識・技術やノウハウを提供すると共に知的障害及び福祉施設に対する理解促進に取り組みました。また利用者さんにとって単調のなりがちな施設生活の中で、実習生・ボランティアを受け入れることで社会の風に触れる一助となりリフレッシュにつながるサービスの提供を行いました。

※ 平成26年度実習生の受け入れ

4月：南海福祉専門学校(1名)

8月：大阪女子短期大学(3名)

11月：障害者支援施設実地研修生(1名)

平成27年

2月：京都女子大学(8名)

3月：大阪女子短期大学(3名)

以上

太陽の丘平成26年度年間行事実施状況	
4月6日(日)	太陽の丘祭り
4月16日(水)～18日(金)	泊旅行1班「名古屋・伊勢旅行」
4月24日(木)	春季野外食会「焼肉」
4月29日(火)～5月7日(水)	春季帰省
5月20日(火)～22日(木)	泊旅行2班「TDL・東京スカイツリー方面」
5月29日(木)・30日(金)	泊旅行3班「白浜温泉」
6月4日(水)・5日(木)	泊旅行4班「城崎温泉・天橋立方面」
6月14日(土)	オリックスVS中日戦観戦(京セラドーム大阪)
6月26日(木)・27日(金)	泊旅行5班「和歌浦温泉 萬波」
7月5日(土)	夏祭り
7月30日(水)	阪神VSヤクルト戦観戦(阪神甲子園球場)
8月12日(火)～19日(火)	夏季帰省
9月9日(火)	天理教様清掃奉仕活動
9月21日(日)	第11回和歌山オープン卓球バレー大会
10月8日(水)	日帰り旅行1班「USJ」
10月15日(水)	ナイスハートふれあいのスポーツ広場
10月18日(土)	日帰り旅行2班「神戸UCCコーヒー博物館」
10月28日(火)	日帰り旅行3班「明石海峡大橋」
11月24日(月)	第11回和歌山ゆうあいスポーツフェスタ
12月14日(日)	クリスマスパーティー
12月17日(水)	なんばグランド花月観劇
12月16日(金)～1月5日(月)	冬季帰省
平成27年1月23日(金)	宝塚歌劇観劇
3月1日(日)	懇談会

# 療育センターAOI

療育センターAOIでは、「もなみ」生活介護・就労継続支援B型、「リアン」生活介護、「エトワル」児童発達支援・放課後等デイサービス、「療育センターAOI」一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援(海南市・紀美野町から委託)、相談体制整備事業(和歌山県から委託)4つの事業所で8つの事業を実施、展開しています。

今年度、児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護の事業を実施していたリアンは廃止し、もなみの重症心身障害者の方に特化した受け入れ態勢の従たる事業所「リアン」として生活介護事業を展開してきました。空白の期間なく無事変更でき、利用者さん保護者の方にご迷惑をお掛けすることなく安心してご利用して頂く事ができました。

## もなみ・リアン(生活介護・就労継続支援B型)

もなみ・リアンは、利用者さん保護者の方、一人一人の思いをしっかりと受け止めさせて頂くために『情報を共有する(収集・発信・記録)』を目標とし、職員一丸となって常に最善の支援をするよう心掛け取り組みました。

## もなみ生活介護事業

定員15名 契約利用者18名 平均利用者数14.6人(平成27年3月現在)  
日々一人一人の体力に合わせて近隣をウォーキングするなどして健康と体力維持に努め、またお花見やクリスマスなど季節感ある行事を取り入れるなど皆さんに楽しんでいただける活動内容を提供し、保護者や利用者の皆様に喜んで頂くことが出来ました。

## もなみ就労継続支援B型事業

定員10名 契約利用者11名 平均利用者数9.7人(平成27年度3月現在)  
一般就労を目指す方の支援を療育センターAOI相談員と協力しながら、2名の方に就労継続支援A型事業所さんの見学などの支援を充実し、平成27年2月に1名の方が就労継続支援A型事業所への雇用が決まるなど一人ひとりの思いをしっかりと捉え支援に反映出来るよう心がけています。

クッキー事業については、国体やイベントの参加で新商品の開発や新規の委託販売先開拓など少しずつではありますが進んでおり、利用者さんの工賃アップに繋がっています。  
また利用者さんのニーズに合わせた作業内容を提供するために、クッキー事業以外に雑貨事業(ブラシ・スポンジ作業)を実施しているのですが、個人の特性に合った仕事内容を提供することで作業意欲を保てるなどの効果があり、こちらも賃金アップにつながっています。

## リアン(重症心身障害者に特化した受け入れ)生活介護事業

定員6名 契約利用者9名 平均利用者数4.0人(平成27年3月現在)  
年間の行事には、季節に合わせてお花見やプール、秋には保護者の方とともに遠足、12月は

クリスマス会など企画していますが、26年度は冷夏だったり天候が悪かったりで思うように実施出来なかった企画もありました。その代わりに冷水での足浴や「事業所解放週間」と題して保護者の方に活動を見て頂くなど職員が工夫して活動を提供しました。その他、外食や買物クッキングや制作活動、また「もなみ」と合同で焼き芋大会を行なったり、日々の活動では重症心身障害の利用者の方に楽しく心地よい刺激ある時間を過ごして頂く事ができました。また、毎月2回理学療法士の訓練や月1回和歌山病院の巡回相談(レクリエーション活動)などを実施していて保護者の方にも大変喜んで頂いています。

#### エトワル(児童発達支援・放課後等デイサービス)

平成26年度の登録者は13名で、通常3～5名の利用者があり支援学校へ迎えに行き放課後対応をしてきました。春・夏・冬の長期休暇には8～10名程度の利用者があり地域で暮らす障害児の活動場所として展開してきました。今年度で卒業する方や自宅から近い事業所が変わる予定の方もありますが、27年度4月から新たに利用して頂ける予定の方もあります。

#### 療育センターAOI(一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援)

平成26年7月から相談支援専門員を1名増員し3名の体制で事業を進めてきました。相談支援事業として、地域も障害児・者(家族)の相談を受けていく中(本人や家族の悩み、福祉サービス事業所の調整、通院の同行や申請の代行などの様々な生活のことについて対応している)海南市、紀美野町から委託相談支援事業所として委託されているため、海南海草圏域の自立支援協議会の運営(すべてにおける会議や研修などの企画運営など)や特定相談支援事業所の関わっている困難事例に対しても対応しています。相談件数においても多くなってきていて、サービス等利用計画についても200件以上受けもっており、現状では対応しきれなくなっている中、今後の職員体制についても考えていかなければならない。

#### 相談支援体制整備事業(アドバイザー)

和歌山市と海南海草圏域を担当エリアとして、自立支援協議会の運営、地域の困難事例について委託相談事業所とともに対応したりしてきました。また、和歌山県の自立支援協議会で各圏域の地域課題を検討してきました。

※もなみ・リアン 平成26年度 年間実施事業(行事)

<http://www.aoikai.or.jp/aboutus/documents/monamiriannenkangyouji2015.pdf>